

しめくくり総括質疑

和泉なおみ都議は三月二五日、都議会予算特別委員会で締めくくり総括質疑にたち、コロナ対策事業を終了する問題など、都政の重要課題について小池都政の姿勢をただしました。和泉都議の追及に対して小池知事は一般論で答えるのみで、批判を受けとめようとはしませんでした。

「コロナ対策の終了は

「都の政治責任の放棄」

和泉都議は都が新年度予算案で、福祉施設でのPCR検査や、コロナ治療の自己負担軽減などの施策を軒なみ終了するということを批判し、都が公表した都民アンケートでもコロナが「収束した」とした人が10%だったのに対し、「収束していない」とした人が45%、「感染

再拡大の不安がある」とした人が70%にのぼっていることを指摘しました。

和泉都議はさらに「コロナ対策の殆どを終了してしまうのは政治の責任放棄だ」とのべて、対策の継続を要求しました。

東京空襲の惨禍を後世に伝える

東京都平和祈念館建設を

和泉都議は都がいまこそ「東京都平和祈念館」の建設にふみ出すべきだ、と質問しました。

状況もあり、計画が凍結されたままになって今日にいたっています。

「東京都平和祈念館」は都が東京大空襲の記録などを公式に保存すべく、学者・文化人などの参加を得て建設委員会を設置して検討を行い、一九九四年に「基本計画」までつくりました。

和泉都議は「ウクライナ侵略やガザ侵攻などで多くの人が心を痛めている今日、東京大空襲の惨禍を後世に伝えて、平和へ決意を固めあうことがますます重要になっています」と東京都平和祈念館建設にふみ出すことを強く求めました。



都民の暮らしにこそ光を

都庁舎プロジェクトに48億円

東京都がこの二月から始めた都庁舎の壁面にさまざまな映像を映すプロジェクト（PM）事業は、「都庁舎PM実行委員会」なる

ものが事業委託をうけていて、入札経過もまともな情報公開がされないまま、二年間で48億円もの税金が投入されます。都庁のPMの企画運営

は、電通の子会社です。和泉都議は「PMは中止し、都民の暮らしを照らすためにこそ予算を使うべきだ」と強く批判しました。



四会派が都に申し入れ

スクールカウンセラー「都は雇止めを見直せ」

東京都は公立学校に配置しているスクールカウンセラー（SC）二五〇人を、この三月末で雇止めしました。

スクールカウンセラーは都の非常勤職員として都内で一五〇〇人が働いていますが、二〇二〇年

議、「グリーンな東京」の都議会四会派が三月二八日、共同で「雇い止めを見直し、雇用年限を撤廃するよう」申し入れを行いました。

度から会計年度任用職員に制度

さらに和泉都議はこの問題について

変更されたことに伴い、任用の更

「子どもは機械ではありません。信頼関係を

新が四回までとされたため、この

つくってやっとな心を開いて話すことができ、そ

四月からの5回目を迎える人の

の中で元気を取り戻し成長できるのです」

かわりに「公募」としたためです。

と訴え雇い止め撤回をもとめる文書質問も提出

このことについて都に対し、日

しました。

本共産党、立憲民主党、ミライ会



日本共産党 都議会議員

和泉なおみの さわやかレポート

発行 和泉なおみ事務所
葛飾区東立石 3-25-8 NO.91
TEL 5671-0850 2024.4
FAX 5671-0851

